

(様式)

郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく結果報告書

検討段階

PPP/PFI簡易導入可能性調査

事業実施課

総務部 総務法務課

施設名称

郡山市役所西庁舎

公共施設総合管理計画に基づく検討開始年度

2019年度

所在地

郡山市朝日一丁目23-7

定量評価結果概要（担当：行政マネジメント課）

【前提条件】

- ① 令和元年度に策定した長寿命化計画に基づいた費用で積算（大規模改修のみの費用で積算）
 - ② 事業方式：BT0方式(R0方式も同様)
 - ③ 事業期間：施設整備期間1年、維持管理期間15年
 - ④ 維持管理費用については、平成30年度財務諸表抜粋
 - ⑤ 簡易計算：国土交通省「VFM簡易計算ソフト」
- 【VFM】財政支出削減率 18.9%（事業規模、金利等により、増減は見込まれる）

定性評価結果概要（担当：事業実施課）

西庁舎においては、緊急修繕をPPP/PFIで行う場合、スケジュール対応が困難であるものの、中長期改修にあつては、PPP/PFI手法を活用することが十分に可能なスケジュールである。
また、改修におけるPFI事例は少ないものの、包括発注による市の業務量の縮減、コスト縮減の観点から、PPP/PFI手法の活用検討の余地があるため、緊急修繕については、直営（従来手法）により実施し、中長期改修にあたり、PPP/PFI手法を検討することが望ましい。

総合的な評価結果（担当：事業実施課）

定量評価結果により、PPP/PFI手法の財政支出削減については、18.9%という高い有効性・VFMが算出されており、定性評価においては、業務量の縮減、コスト縮減、さらには、手続きの透明性や公平性の確保の項目でPPP/PFI手法の有効性が認められており、2023年度以降に予定する中期改修計画の際にPPP/PFI手法導入について検討する。
したがって、緊急修繕については、従来手法により、実施する。

次の検討段階

【従来手法】緊急修繕（無停電電源装置蓄電池・空調設備）の実施

備考

1 VFMの計算時、利率・SPCや資金調達費用・税率等については、過去のPFI案件平均を採用